



みはらのたぐい

February
Vol.251

2

三原で輝く若者たち

授業の一環でカフェを開き、接客やコーヒーの入れ方を学ぶ中で、バリスタ技術の全国大会に挑戦しました。大会では独自にブレンドしたコーヒー豆をひいて、ドリップしている間にカップを温め、審査員に適温のコーヒーを提供。約1年をかけてしっかりと練習を重ねました。

「豆のブレンド作業を何度も試しました」と話す柴田さん(高3)。「豆に合うお湯の温度の調整も難しかった」と岡本さん(高3)。学校として初出場でしたが、笑顔がすてきなチームに贈られる「スマイル賞」など3つの賞を受賞しました。



月1回の
“カフェ”をオープン



スーパーの店頭でカフェを開く。「お客様の喜ぶ顔がうれしい」と話す小原さん(高2)。

チャレンジコーヒー
バリスタ2025 出場

広島県立三原特別支援学校
高等部 食品接客グループ 小原さん

軽度の知的障害がある生徒が、作業学習の授業でカフェの接客や焼き菓子の製造などを経験し、就労をめざしている。



障害のある人を対象にバリスタ技術を競う大会の予選を突破し、県代表として出場。